

### 3. 施策実施の現状

基本方針に沿った19の施策について、現時点（平成30年度末）までの実績を考慮し、目標達成に向けた見直しを整理したものが下表です。

今後は、雨水浸透施設の設置、下水道の整備や合併処理浄化槽への転換、水循環施策の周知と市民活動の活発化などについて、一層の取組の強化を図る必要があります。目標値の設定が無いものについても、継続して実施していく必要があります。

また、これらの施策の多くは、5つの基本方針のひとつ「清らかで豊かな流れの創出」に関わるもので、「平常時流量確保」及び「湧水の保全再生」に対する効果の発現が特に期待されます。一方で「浸水被害の少ない安全なまちづくり」の施策は、流域治水における効果的な施策になっています。

施策名	施策の効果										目標達成に向けて
	浸水被害の少ない安全なまちづくり		清らかで豊かな流れの創出			渇水時や震災時に強い水利用		自然との共生	水循環を軸とした地域づくり		
	治水施設整備促進	分散的治水対策	良好な水質確保	平常時流量確保	湧水の保全再生	水利用合理化促進	節水型社会システム	生物の環境確保	水循環の認知度向上	市民連携と地域づくり	
河道改修	●	●									河道改修を更に進める。
調節池の建設	●							●			海老川調節池や飯山満川調節池等の用地買収は進んでおり、今後も計画に沿って整備を進めていく。
下水道の整備			●								今後も計画通り整備を進めていく。
下水処理水の利用			●	●							2.河川への導水の効果を踏まえて運用していく。
雨水貯留施設の設置 (公共施設、新規開発地等)		●									設置可能箇所の学校・公共施設への設置を促進する。
雨水浸透施設の設置 (公共施設、新規開発地、一般住宅等)		●	●	●	●						現在の整備量では達成が難しい。普及啓発活動等をあわせて実施し、設置を促進する。
合併処理浄化槽への転換			●								下水道の整備とあわせて、汚水処理人口普及率の向上を目指す。
公園・緑地等の整備と保全		●		●	●			●			公園・緑地等の整備と保全に努める。
環境用水容量の確保				●				●			環境用水容量の確保に努める。
下水管の不明水、老朽化対策			●		●						下水管の不明水、老朽化対策に努める。
家庭での汚濁負荷削減			●								家庭での汚濁負荷削減対策を推進する。
雨水利用施設の設置						●	●				雨水利用施設の設置を更に進める。
再生水の利用						●	●				再生水の利用を更に進める。
家庭での節水						●	●				家庭での節水を更に進める。
多自然川づくり								●			自然環境に配慮した整備を進めていく。
固有種の保護、外来種対策								●			河川などの維持管理や、新規開発、都市基盤整備において極力生態系に配慮する。
地下水対策				●	●						指導を継続し、地下水の適正利用を進める。
NPO及び市民団体に対する支援等		●	●		●	●	●	●		●	今後も情報提供や活動支援を進めていく。
水循環施策の周知と市民活動の活発化		●	●		●	●	●	●	●	●	市民も主体に含め、認知度向上を目指す。